



# 第3期 釜石市地域公共交通計画



## 【概要版】

### 基本理念

～未来へ続く、暮らしとコミュニティを支える  
地域公共交通の実現～

当市では、復興後の持続可能な交通体系を目指し、路線バスの幹線・支線の再編のほか、自動運転バスや定額運賃制の実証実験を進めてきました。

公共交通は移動手段であるだけでなく、高齢者や子ども、交通弱者の外出機会を確保し、買い物・通院・通学などの日常生活や、地域イベントへの参加を支える重要な生活基盤です。

また、地域コミュニティ維持の面でも不可欠であり、誰もが使いやすい公共交通の再構築が求められています。

このことから市民、交通事業者、関係機関が役割を分担しながら、将来にわたり利用され続ける公共交通の構築を目指していきます。



## 計画の概要

- 釜石市のまちづくりを見据えた地域公共交通のあるべき姿を描き、持続可能な公共交通の構築に向けた取組を進めるための計画です。
- 「第六次釜石市総合計画」及び市が策定している他の計画と整合を図りつつ、連携しあうものとして位置づけます。
- 本計画の計画区域は釜石市全域とします。



## 地域の現状と課題

- 人口減少・高齢化(高齢化率41%)
- 高齢化の進行に伴う移動支援の充実
- 自家用車依存の進行
- 公共交通利用の低迷(満足度6.7%)
- 支線バスの収支悪化



## 目指す公共交通ネットワーク

- 幹線交通: 広域・基幹路線の維持
- 支線交通: 最低1往復の直通便の確保
- 地域の実態に応じたドアツードア性の向上
- 交通結節点の機能強化



## 戦略と取組の方向性

### 【戦略1】持続可能な運営基盤の強化

- 公共交通の持続性確保を目指す
- ①地域公共交通の維持・確保に向けた支援
- ②民間事業者との協働によるコスト削減やサービス改善
- ③ダイヤの最適化、需要に応じた運行
- ④まちづくりとの整合を図った交通体系の構築

### 【戦略2】地域ニーズ対応型交通ネットワークの再構築

- 地域に応じた移動手段の充実を目指す
- ⑤コミュニティバスとにこにこバスの一体的見直しの検討
- ⑥スクールバスとの連携の検討
- ⑦通学時の路線バスの活用
- ⑧交通不便地域の解消に向けた検討
- ⑨高齢者のおでかけ支援サービスの検討・導入
- ⑩キャッシュレス決済の普及促進
- ⑪先行事例の検討・地域に応じた内容での横展開

### 【戦略3】公共交通を支える意識の醸成と公共交通施策への参画

- 公共交通利用の推進を目指す
- ⑫バス・鉄道における利用促進事業の実施
- ⑬地域公共交通に関する情報発信

## 計画期間: 令和8年度—令和12年度



## 基本目標と目標指標

### 【基本目標1】持続可能な公共交通ネットワークの維持・強化

#### 1. 運行維持率(支線部に係る計画路線の維持状況)

R7現状値 100% ⇒ R12目標値 100%

#### 2. 運行維持費(市が負担している乗合バスに係る運行経費)

R7現状値 33,607千円 ⇒ R12目標値 30,582千円

### 【基本目標2】地域のニーズに応じた多様な移動手段の確保

#### 3. 外出環境の満足度(公共交通に対する総合的評価)

R7現状値 6.7% ⇒ R12目標値 11.0%

#### 4. 公共交通を日常的に利用している割合

R7現状値	通勤 3.6%	⇒	R12目標値	通勤 4.6%
	通学 54.3%	⇒		通学 55.3%
	通院 13.3%	⇒		通院 14.3%
	買い物 5.6%	⇒		買い物 6.6%

### 【基本目標3】公共交通利用促進と市民意識の醸成

#### 5. 市民一人当たりの乗合バスの年間利用回数

R7現状値 9.7回/年・人 ⇒ R12目標値 14回/年・人

#### 6. 公共交通利用促進策の実施件数

R7現状値 7件/年 ⇒ 9件/年



## 計画推進体制(PDCA)

国及び県の動向や社会情勢の変化等を踏まえ、庁内関係部局と横断的な調整を行うとともに、交通事業者など関係機関とも連携・協力し、本計画を推進していきます。